

第6回学校教育・保育審議会 議事概要

1 開催日 令和5年1月23日（月）

2 開催場所 白石市役所3階第3会議室

3 出席委員 富樫会長、紺野副会長、田端委員、松原委員、菅野委員、齋藤委員、一條委員、相原委員、安達委員、樋口委員

4 欠席委員 なし

5 事務局 12名

6 開会時刻 18時00分

7 協議事項

（1）幼児教育・保育のあり方について

- ・集約する拠点施設は公立ありきではないが、民間では幼稚園機能を利用する1号認定の減少や将来的な保育定員の縮小、待遇改善による保育士確保、研修の充実、医療的ケア児への対応などが課題となっており、市が保育の質を担保しながら調整役を担い、支援が必要な子どもを受け入れて連携するという案には大方賛同が得られていることを報告。
- ・拠点施設は、1号認定が減少している中でも、子どもの育ち指針として幼児教育と保育の一体的提供が可能な認定こども園としつつ、医療的ケアが必要な子どもや、民間の施設をすぐに利用することが難しい子どもなど、支援の必要な家庭にも対応できるインクルーシブ保育を提供できる多機能型として提案していることを説明。
- ・各委員の意見等受付後、3月頃に答申の予定。

（2）小中学校教育のあり方について

- ・学校の未来を考える保護者会議では、カリキュラムとしての地元学や新校舎の安心安全、登下校への配慮や放課後支援などが重視され、大胆な再編案を支持する声が多かった。これまでの部会や若者会議も踏まえ、現時点では、特色あるカリキュラム、安心安全を基本とする新校舎による小中一貫義務教育学校と、既存の小規模小中一貫校から選ぶことができるようにし、不登校特例校を加えた3校に集約することを骨子とする答申案を考えている。
- ・学校教育部会は当面議論を継続。

8 閉会時刻 20時00分